南部中ホームページ （http://www.nanbu-chu.ed.jp/）はこちらから →

南部町立南部中学校　学校だより　R8第１２号

城山の風

令和8年10月13日(火)

校長　樋口信也

「フクシ」ってなんだろう？

１年生の総合学習では、福祉について学習しています。その第１回目として、９月２５日（金）に山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科の伊藤健次教授を講師にお招きし、『「フクシ」ってなんだろう？』というタイトルでお話をしていただきました。

【伊藤さんのお話で印象に残った言葉】

- 福祉とは、いつも通りの当たり前の平穏な毎日をつくりだすこと
- 幸福をめざすあれやこれやは全部福祉（困っている人のそばにいる、話し相手になる、食事を作る、介護をする　など）
- 福祉がない場所はない。
- 介護が必要＝不幸せというわけではない。
- 幸せにはいろんな形がある。感じ方は人それぞれ。

生徒からは、「福祉は遠いイメージだったが、近くに感じるようになった。」「福祉の範囲は広いことが分かった。」などの感想が出ました。世の中には様々な人がいます。だれもが穏やかに、心豊かに暮らしていくために福祉はあり、それについて学ぶことは、個人としても社会の一員としても大切なことです。



新人体育大会開幕

１０月３日（土）から新人体育大会が始まりました。昨年までは峡南地区の新人大会でしたが、今年からは、県大会の支部予選、あるいは１回戦として行われました。３日は野球と男女ソフトテニス個人戦、４日は男女ソフトテニス団体戦、そして１１日に男女バレーが行われました。

野球部は、身延中との合同チームで、三珠中・市川中・富士川中合同チームと対戦し、１９－１で勝ちました。ソフトテニス部は、個人戦で稲嶺柚樹・木内大翔ペアと鴨狩楓・萩原桃音ペアが、団体戦で男女とも本戦進出となりました。女子バレー部は、体調不良で出られない人もいて万全の状態ではありませんでしたが、身延中と市川中に勝って２回戦へ進出しました。男子バレーは、県大会がオープン参加のため交流戦として三珠中と試合を行いました。

初めての公式戦でしたので、緊張したことと思います。そんな中で、普段の練習通りのことができた試合もあれば、練習試合とは違う雰囲気の中で、思ったようなプレーができない場面もありました。どちらにしても、得るものはたくさんありました。

客観的・相対的に自分の実力を知ることもできましたし、仲間の支えの大きさを改めて知った人もいるでしょう。新人大会はまだ続きますので、また頑張ってほしいと思います。















